

## グローバル・ビジネス・アウトルック・サーベイ(速報要約版)

2013年9月(第3四半期)

2013年9月17日公表

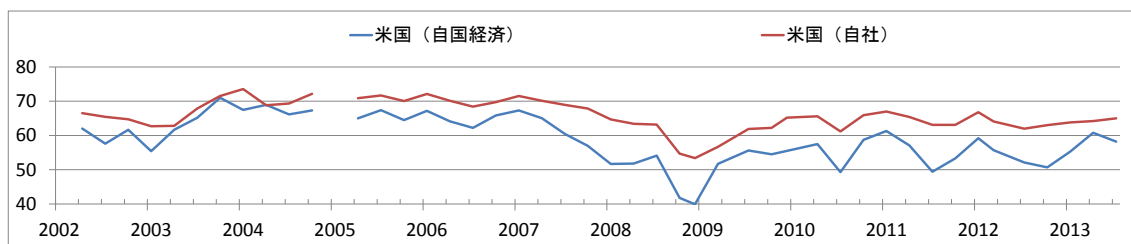
CFOサーベイ日本チーム

### 1. サーベイの概要

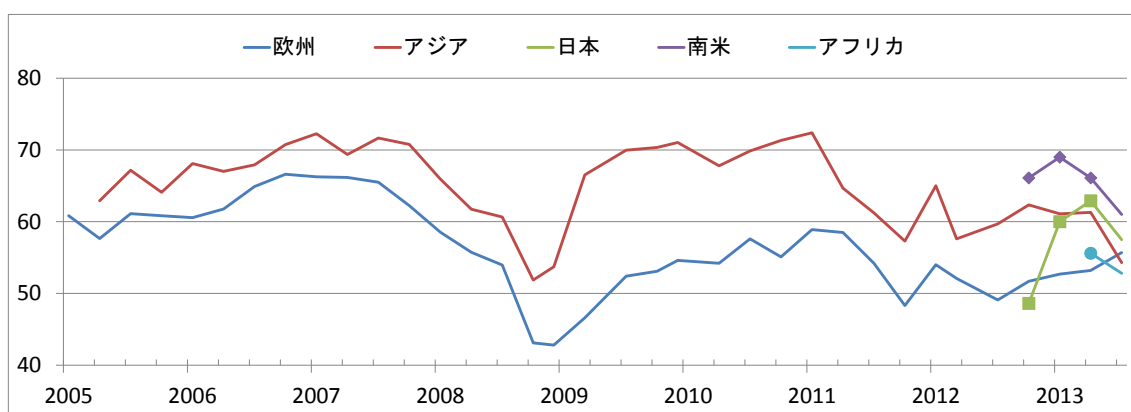
- ・2002年3月より実施(毎年3月・6月・9月・12月)
- ・対象: 日本、米国、アジア、欧州、ラテンアメリカ、アフリカの CFO
- ・今回が第70四半期の調査(日本は、第67回四半期から参加)
- ・参加者: 1,212名(米国530名、アジア205名、欧州175名、ラテンアメリカ248名、アフリカ54名)。

### 2. 世界の CFO の楽観度指数

米国の CFO の自国経済および自社業績に対する楽観度指数の平均値

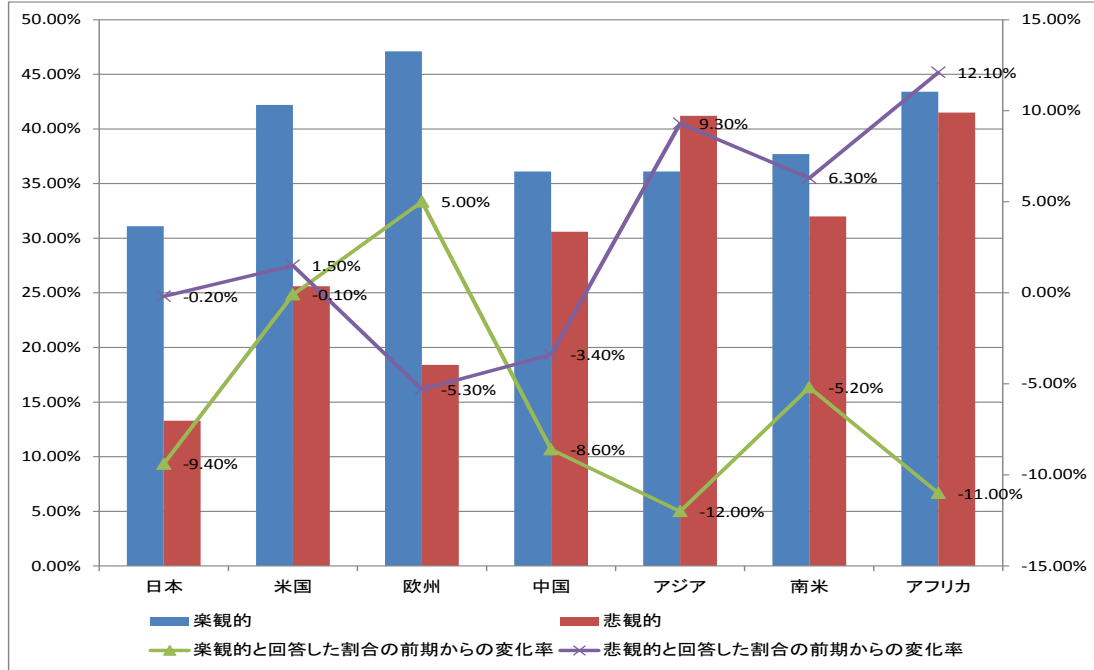


世界(米国以外)の CFO の自国経済に対する楽観度指数の平均値

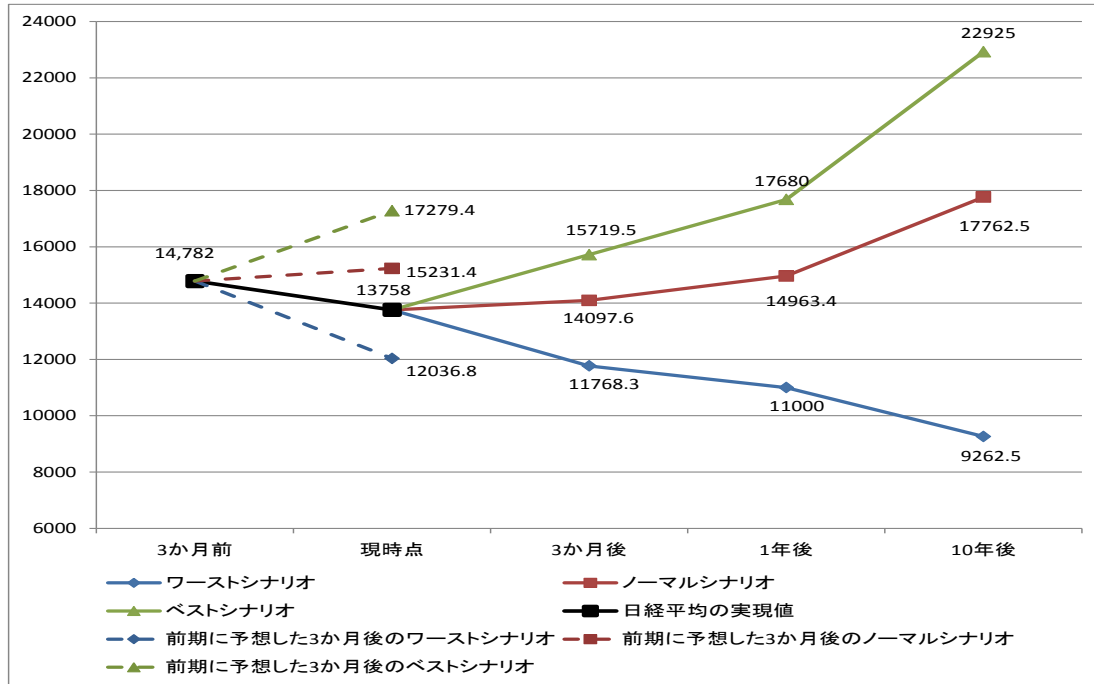


3. 日本の調査結果

あなたは前の四半期（2013年4～6月期）と比べて貴社の先行きについて楽観的ですか？それとも悲観的ですか？



2013年8月19日の日経平均株価は13,758円でした。10年後、1年後、3か月後に日経平均株価はそれぞれ何円になっていると思いますか？



### 《今回の調査結果のポイント》

- 世界的に、欧州を除き、CFOは自国経済に対して悲観的な見方へシフトしている。
- 米国のCFOは、過大評価されている株式市場や医療改革に伴う医療費の増加に強い懸念を抱いている。
- 日本では、自国経済に対する楽観度指数は58で、前回の63から大幅に低下したが、自社の業績に対する楽観度指数は56で、前回の55からわずかに上昇した。今回のサーベイは、2020年の東京オリンピック開催が決定される直前に終了した。このため、今後のオリンピックに係る経済効果は織り込まれていないが、引き続きアベノミクスへの期待により、日本のCFOの自社の業績見通しの改善につながっていると考えられる。
- 実際、86%の日本のCFOが消費税増税に賛成し、93%以上のCFOが安倍政権による成長戦略（「第三の矢」）は日本経済にプラスの影響をもたらすと考えている。
- 今年5月に株価が急落して以降、日本の株式市場の株価は低迷気味で推移し、今回の調査結果においても、株価予想は全体として下方修正される結果となった。しかし、オリンピック開催に伴う3兆円ともいわれる経済効果が、今後の株価動向にどのような影響を与えるか注目される。
- 今回のサーベイでは、世界共通テーマとして従業員の雇用形態と企業の長期借入についてアンケートしている。世界的に、国内では契約社員の比重を高めており、海外では正社員を増加させる傾向がみられる。これは、日本企業の今後の雇用政策に対しても参考になるだろう。今回のサーベイに関する詳細レポートを入手されたい方は、[cfosurveyjp@gmail.com](mailto:cfosurveyjp@gmail.com)に詳細レポートの希望をご送付下さい（詳細レポートのご希望を頂いた方には、今後のサーベイのご連絡も個別に送付させていただきます）。

\*\*\*\*\*

これは要約版です。サーベイの詳細な結果は、サーベイの回答者の方々のうち詳細レポートを希望された回答者の方々のみ直接配信しております。

サーベイについて：

サーベイの送付に当たっては、日本CFO協会、あずさ監査法人が主催するKPMG CFO CLUB®、中小企業家同好会の協力を得て、主としてこれら団体の参加企業のCFO、財務・経理幹部社員に送付されています。日本に関するサーベイの実施概要および結果レポート等は、以下のホームページ（CFOサーベイの日本のホームページ）をご覧ください。

<http://www.me.titech.ac.jp/inouelab/cfosurvey.html>

本件に関するお問い合わせは、以下にお願い致します。

CFOサーベイ日本チーム

[cfosurveyjp@gmail.com](mailto:cfosurveyjp@gmail.com)